

(別添2)

早期退院の評価について

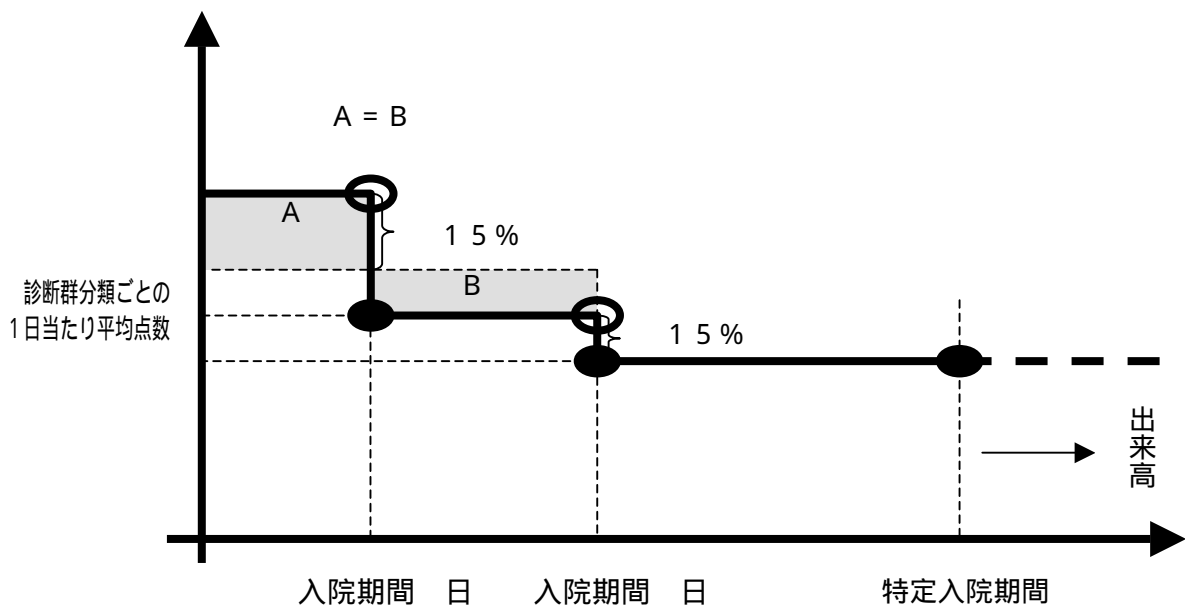
脳神経系疾患における早期退院の評価

【対象となる疾患】

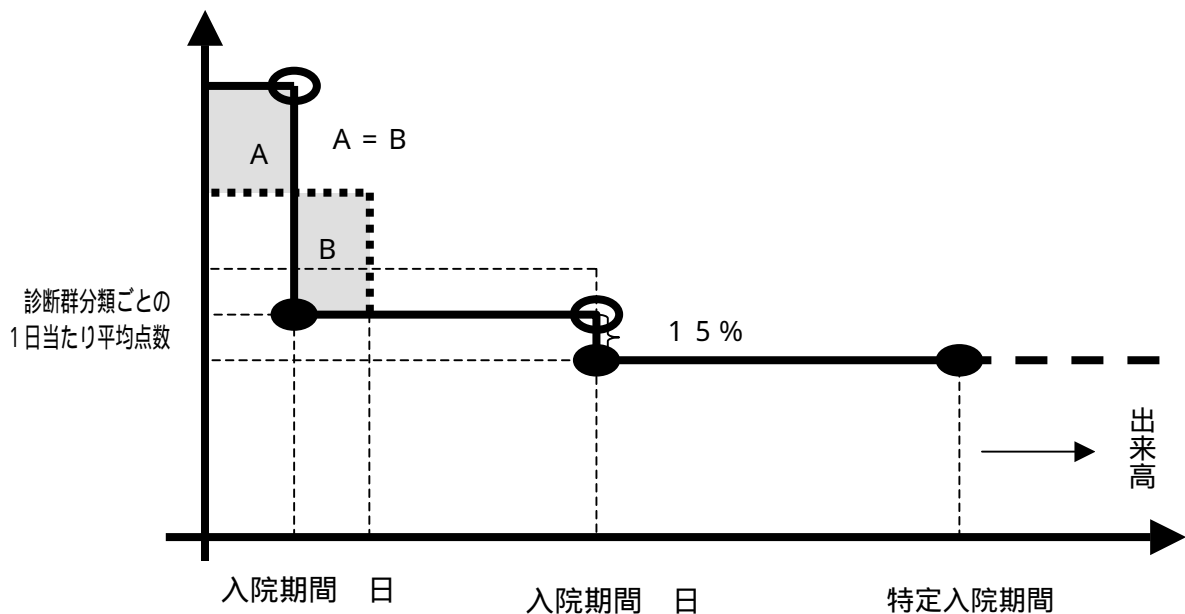
- ・ 010020 (くも膜下出血)
- ・ 010040 (非外傷性頭蓋内血腫 (非外傷性硬膜下血腫以外))
- ・ 010050 (非外傷性硬膜下血腫)
- ・ 010060 (脳梗塞)
- ・ 010080 (脳脊髄の感染を伴う炎症)
- ・ 010090 (多発性硬化症)
- ・ 010110 (免疫介在性・炎症性ニューロパチー)
- ・ 010130 (重症筋無力症、神経障害 (その他))
- ・ 010150 (脳血管疾患 (その他))
- ・ 010155 (脊髄性筋萎縮症および関連症候群)
- ・ 160420 (頭部・顔面外傷)

平成16年診療報酬改定において、悪性腫瘍に対する化学療法の一部の診断群分類について、診断群分類毎の1日当たり点数設定について見直しを行ったが、悪性腫瘍以外の疾患についても同様の対応を取るべきとの意見が提出されている。

(従来の支払方法)



(化学療法などに係る新しい支払方法)



次ページの表について

包括の1726各分類について、在院日数の5%タイル未満の退院データについて分析を行ったもの。

今回見直しの要望が出ている分類については、行を色つきで表示。

各分類について、5%タイル未満で退院したデータを対象として、

- ・ 包括範囲出来高点数の平均
- ・ 現行の支払方式で支払った場合の包括範囲点数の平均
- ・ 5%タイル値（退院日数が短い方から5%）までの入院初期を評価した場合についての包括範囲点数の平均

の3つの点数を計算。

各分類において、現行の支払方式による包括範囲の支払点数と、包括範囲出来高点数との乖離（包括出来高点数差）を算出。また、（包括出来高点数差）×（各分類のデータ件数）の値（色つきで示された列）を表示。

全体のデータを色つきで示された列で昇順にソート。

Table with columns: 診断群分類番号, 診断群分類名称, 現行 (出来高, 包括), 見直し後 (出来高, 包括), 5バーセントイル未満の退院 (件数, 包括範囲), 現行 (出来高, 包括), 見直し後 (出来高, 包括), 現行 (出来高, 包括), 見直し後 (出来高, 包括). Rows list various medical conditions and their associated metrics.

1.特定機能病院等82病院平成16年度データ
2.包括対象DPC対象